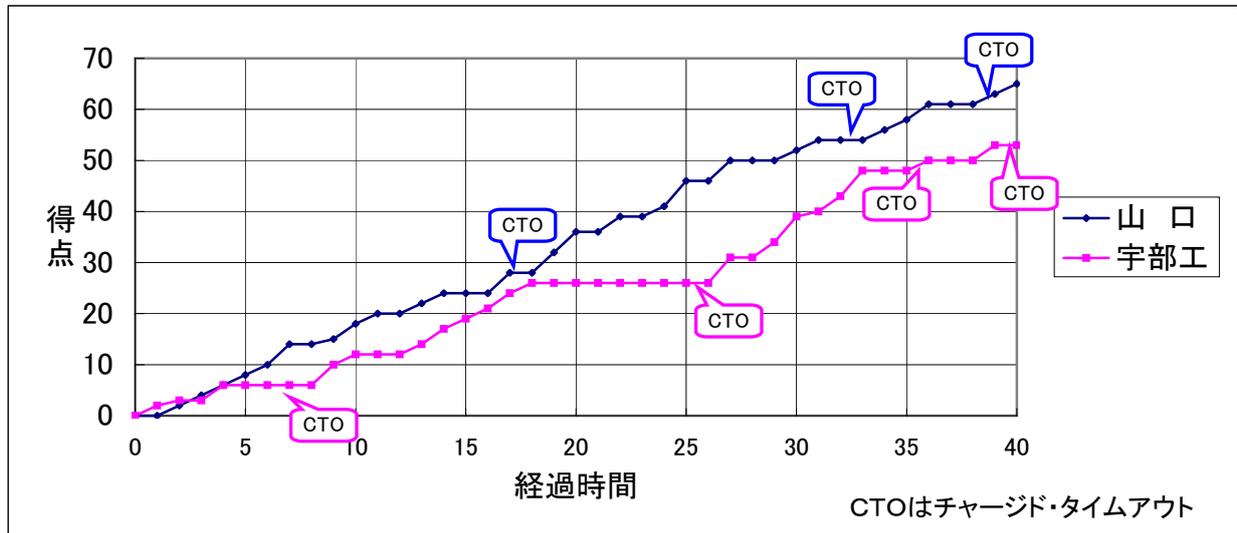


大会名	第37回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会山口県予選会 兼 山口県高等学校選手権大会	main3	13:20	男子決勝													
		山口 65 ○	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>18</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>16</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	18	-	12	18	-	14	16	-	13	13	-	14	-	-
18	-	12															
18	-	14															
16	-	13															
13	-	14															
-	-	-															
期日	2006年(平成18年)11月18日(土)																
会場	やまぐちリフレッシュパーク																

主審 川 武 修 副審 渡 辺 博 史



### 山口

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
◎ 4	隅 廣 英 二	18	2	6	0	1
5	清 水 豊	0	0	0	0	0
6	上 田 正 剛	4	0	2	0	0
○ 7	中 原 友 友	15	1	4	4	0
8	水 田 信 成	0	0	0	0	0
9	木 村 将 士	0	0	0	0	0
○ 10	大 田 裕 史	4	0	1	2	3
11	弓 場 将 矢	0	0	0	0	0
12	大 田 崇 央	4	0	2	0	3
13	徳 川 達 也	0	0	0	0	0
14	上 田 裕 太	0	0	0	0	0
15	友 森 克 樹	0	0	0	0	0
16	小 沢 綾	0	0	0	0	0
○ 17	丸 岩 侑 史	13	0	5	3	2
○ 18	山 田 雅 之	7	0	3	1	2
コーチ	河 上 年 博					
合計		65	3	23	10	

### 宇部工

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
◎ 4	宗 野 克 洋	10	2	2	0	2
○ 5	池 田 親 平	0	0	0	0	2
6	岸 本 大 祐	14	3	2	1	3
○ 7	摩 嶋 憲 樹	2	0	1	0	2
8	三 輪 寿 史	0	0	0	0	0
9	前 村 明 宏	0	0	0	0	0
○ 10	岩 木 祐 弥	15	2	4	1	4
○ 11	森 山 貴 幸	4	0	2	0	1
12	竹 中 研 二	0	0	0	0	0
13	大 深 聡	3	1	0	0	1
14	三 戸 義 朗	0	0	0	0	0
15	竹 本 達 矢	0	0	0	0	0
16	小 森 敬 介	0	0	0	0	0
17	辰 本 将 和	5	0	2	1	2
18	小 藤 龍 太 郎	0	0	0	0	0
コーチ	西 村 修					
合計		53	8	13	3	

○はスターター(◎はキャプテン) 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

## 戦 評

山口のDefに対して宇部工のOffがどう機能するかが見所だと思われた。両チームともにマンツーマン。宇部工の#4のドライブからの得点でスタート。すかさず山口も入れかえしたが決勝の緊張からか互いにイージーシュートを外し自分たちのペースとすることができない。1Qの終盤山口のDefが効き宇部工のミス誘い山口18-12とリードして終了。2Qは互いに我慢の時間帯が続く。徐々に宇部工も山口のDefに慣れ自分たちのペースで試合を展開していく。6分過ぎ宇部工の#6のバスケットカウントで2点差に詰め寄る。しかし山口はリバンドから速攻など最後に3本連続で決め36-26と山口がいい流れを掴み前半を折り返した。3Q宇部工は2-1-2のゾーンで対抗する。宇部工のDefも効いていたが山口のDefの前になかなか得点をあげることができない。4分過ぎに宇部工はマンツーマンに戻す。ここからは、一進一退の攻防が続き山口が52-39とリードして終了。4Q開始直後に宇部工の#10の連続3Pや速攻が決まり6点差とする。これで一気に宇部工の流れかと思われたが山口は冷静にリバンドからのシュートを決めきリペースを渡さない。65-53と粘る宇部工を振り切り山口は夏に続き全国大会の切符を手にした。(3年ぶり9回目)

記載者 西 村 悠 (所属) 山口県高体連バスケットボール部